

# 電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

第257号

令和7年  
(2025年)

発行 11月28日

年4回発行

発行

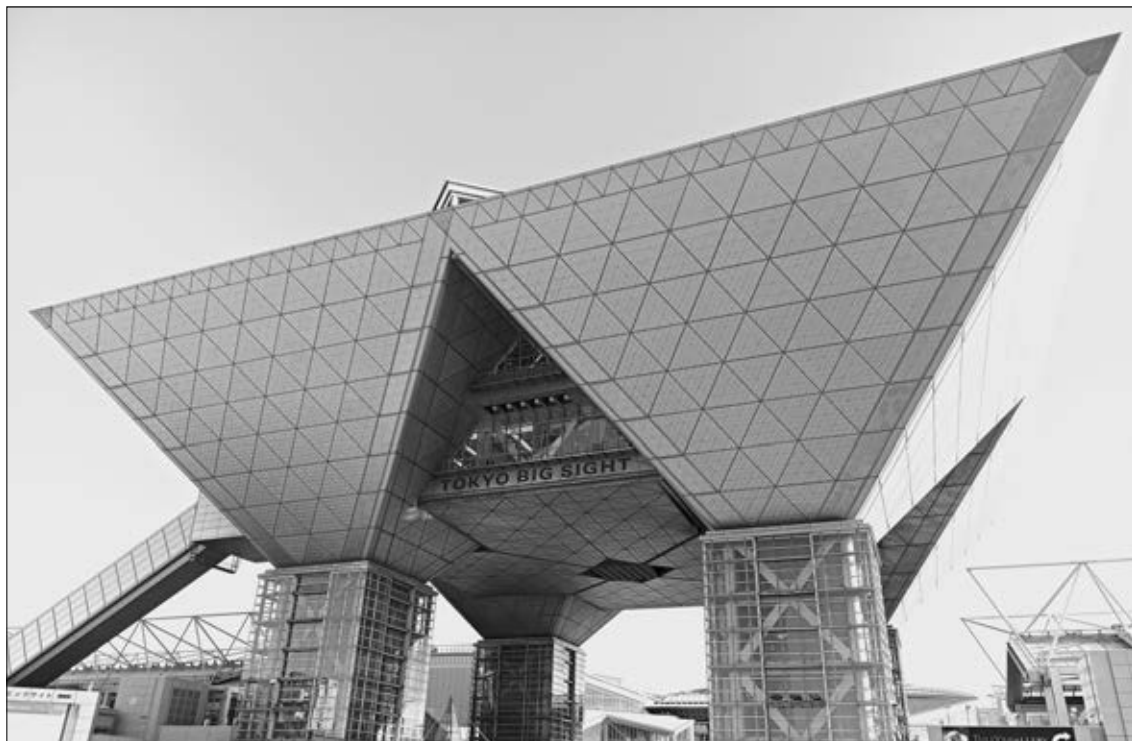
全国電子部品流通連合会

東京都文京区湯島3-6-1

<https://www.jep.gr.jp/>

電話 東京 03(3832)4295

企画編集 家電流通研究センター



## ECU Show、2026年6月10日～12日に開催！

「電子機器トータルソリューション展2026」が2026年6月10日～12日にかけて、東京ビッグサイトで開催される。全国電子部品流通連合会（JEP）と東京都電機卸商業協同組合（TEP）は、同展で「Electronics Component & Unit Show (ECU Show)」として参画するため、会員企業に出展を要請している（写真は会場の東京ビッグサイト）。

### ■全国電子部品流通連合会／総会・情勢報告

- 東京都電機卸商業協同組合（TEP）
- 近畿電子部品卸商組合（KEP）
- 中部電子部品流通業協議会（CEP）
- 中・四国電子制御部品流通協議会（CSEP）
- 関東甲信越電子制御部品流通協議会（NEP）
- 九州電子流通業協議会（KRP）

### CONTENTS

- ◎ 全国電子部品流通連合会  
第51回通常総会 ..... 2
- ◎ CEATEC 2025 ..... 12
- ◎ 電子機器トータルソリューション展2026  
ECU Show の出展募集を開始！ ..... 13

**JEP 全国電子部品流通連合会**

JAPAN FEDERATION OF ELECTRONIC PARTS DISTRIBUTORS & DEALERS



# 全国電子部品流通連合会 第51回通常総会

## 展示会参画などの活動方針を決定

全国電子部品流通連合会（JEP）は10月8日、第51回通常総会を東京ガーデンパレスで開催した。また総会前には10月度のJEP理事会が開催され、事務局からは、

### 屋宮芳高会長の挨拶

「2026JEP会員名簿協賛広告の報告について」「電子機器トータルソリューション展2026について」「2024年度収支予算（案）承認について」「役員一部変更（案）」などの報告と提案が行われ、承認された。また総会では全8議案が承認された。

区、近畿地区、中部地区の新年交歓会に出席し、6月には近畿地区の総会、9月には再び中四国の会合に出席するなど、各地の皆さんと親交を深めることができました。

私たちの業界は、もちろん

も、まだ課題は残っています。最近、新聞などで目にした方もいらっしゃると思います。日本の電子部品メーカーが海外の会社を買収されようとしているという問題があります。

それから、もう一つの大きな課題は人材不足です。特にトラックや運転手の業界での人手不足は深刻です。この人材不足は、我々の会社が社員を採用する上でも同様です。基本賃金が上がっていること

「我々の業界においては、電気自動車に関することや自動運転、ロボット、AI、IoTなど、どれをとっても電子部品なしに考えることはできません。

個々が競争していくこともありますが、手を取り合って、より良い業界を作り出すという側面も目指していくべきです。その両方のバランスをうまく見極めながら、進めていくことが大切だと考えております。

これに関連して、『日本の電子部品メーカーは良い技術を持っているにもかかわらず、企業の価値が低い』として、買収のターゲットとなり得る電子部品メーカーが十社ほどリストアップされていたのをご覧になった方もいらっしゃるでしょう。

このように状況の中でも、お客様に部品を買っていただくためには、今以上に魅力のある会社、業界になる必要があると考えています。そのため、人材の育成には特に力を入れていかなければならないと考えております。

私たちの業界には、まさに新しいチャンスが広がっていると考えられます。

しかし、この業界において

このように、日本の技術の基盤となる電子部品メーカーが海外のメーカーに買収されるという事態は、経済安全保障の観点から見ても、阻止し、守っていかねばならないと、最近強く感じるようになってきました。

より付加価値の高い部品を提供する方法を考え、あるいは、我々自身が商品知識を持ち、物だけではなくそ



屋宮会長



江見副会長



坂副会長



J E P 事業協力表彰



第51回通常総会の様子

の知識を販売し、国内から海外へ、海外から国内へと販路を広げることが求められます。

さらに、単に物を売るだけでなく、その物を使って組み立てるといった工程に携わることや、他の業界とコラボレーションをして、新たな価値を生み出していくようなことを考えなければならぬ状況が、必ず近い将来に出てくると思っています。

この日々変わる状況の中で、研鑽を重ねながら我々の業界を発展させていくためには、本日ご参集の皆様のお知恵を拝借したいと考えています。

続いて、JEP事業協力表彰が行われ、東京都電機卸商業協同組合、近畿電子部品卸商組合、中部電子部品流通業協議会、中・四国電子制御部品流通協議会に表彰状が送られた。

この後、総会は司会をJEPの渡辺勤事務局長が担当し、会員総数234社の内、会員出席53社、委任状提出者76社となり、定足数を満たしていることを報告。

議長には屋宮会長を選出し、次の議案について、審議が行われ、すべて承認された。

第1号議案・2024年度事業報告承認の件  
第2号議案・2024年度収

支決算報告並びに監査報告承認の件  
第3号議案・2024年度剰余金処分案承認の件  
第4号議案・2025年度事業計画(案) 決定の件  
第5号議案・2025年度収支予算(案) 決定の件  
第6号議案・2025年度会費及び会費徴収方法決定の件  
第7号議案・役員変更の件  
第8号議案・その他

### 〈第1号議案〉

第1号議案・2024年度事業報告承認の件では、松本年生専務理事から電子電機部品業界の概況が報告された後、JEPの活動について、次のように報告が行われた。

「当連合会は収入財源確保のための事業として、2024年度もPL保険の斡旋事業を実施し、収入増を図った。支出面においては、会議費の経費削減対策として、2025年3月4日及び7月4日に、JEP理事会をWEBにて実施した。

また、『CEATEC2024』に協賛団体として参加及

び『電子機器トータルソリューション展2025』にElectronics Component & Unit Show(ECU Show)として運営参画し、『2025 JEP会員名簿』の配布等、当連合会活動等の啓発を図った」。

### 事業運営に関する事項 庶務事項

事業運営に関する事項は、事務局から次のように報告された。

組織構成及び組合員数については、2025年8月31日現在において、組合員数が234社となり、昨年度末より2社増、役員総数34名であることを報告。

会議開催の概要については、第50回通常総会を2024年10月16日、東京ガーデンパレスで開催。第1回理事会を、2024年10月16日に東京ガーデンパレスにおいて開催。第2回理事会を2025年3月4日、WEBで開催。第3回理事会を2025年7月4日、WEBで開催したことを報告。



松本専務理事

「CEATEC」及び「ECU Show」出展関連の報告では、2024年10月15日～18日に開催されたCEATEC2024と、2024年6月4日～6月6日に開催された電子機器トータルソリューション展2025（ECU Show）の開催に伴い、実行委員会や説明会を開催したことを報告。

活動報告では、次の5つについて報告された。

1 組織増強奨励制度については、平成9年度に設定された組織増強奨励制度に基づき各単組に組織増強奨励金を贈呈したことを報告。

2 機関誌『全国電子部品流通』の発行については、4回発行したことを報告。

3 JEPホームページへのアクセス件数については、2



鳥居会計理事

025年1月～6月において、3万9190件のアクセスがあったことを報告。

4 収入財源確保のために今年度もPL保険の募集案内を実施したことを報告。

5 拠出型企業年金保険の推進については、今年度も新規加入促進を実施したこと、本年度の加入状況についても報告された。

### 〈第2号議案〉

第2号議案の2024年度収支決算報告並びに監査報告承認の件では、鳥居和久会計理事が貸借対照表、2024年度収支計算書を基に報告を行った。

また伊佐野勝利監事、中西日出喜監事が監査を行い、監査意見書において適正な内容であることも報告した。



伊佐野監事

### 〈第3号議案〉

第3号議案の2024年度剰余金処分（案）承認の件では、鳥居会計理事が期末未処分剰余金を、次期繰越金とすることを報告。

### 〈第4号議案〉

第4号議案の2025年度事業計画（案）決定の件では、事業推進の基本方針について、松本専務理事から次のように報告された。

1 社会・業界に貢献できる組織の確立と連合会活動の推進

2 グローバル化する経済環境に対応できる流通業の経営体質強化

3 JEPホームページの充実と機関誌『電子部品流通』の充実



監事に就任した平松氏

4 CEATEC及び電子機器トータルソリューション展への積極的参加

5 人材確保と人材育成による能力開発の推進

### ●役員会（理事会）開催

JEPの円滑な運営と、地区組織活動の活性化を図るために、次の通り役員会を開催することを報告。

・理事会／3回（2025年10月、2026年3月、2026年7月）

### ●2025年度の活動計画

2025年度の活動計画については、渡辺事務局長から事業の円滑な推進を図るため、次に挙げる活動を積極的に推進するため、必要に応じて委員会を設立することを提案、承認された。

1 社会・業界に貢献でき得る組織の確立

2 組合員加入促進による地区組織の拡大強化

3 地区事業活動の積極的支援による組織力の充実強化

4 会員相互の親睦と協調のための活動推進

5 「CEATEC2025」に協力団体として出展し、JEPの周知並びに組合員企業のPRを図る

6 「電子機器トータルソリューション展2026」にElectronics Component & Unit Show（ECU Show）として参画する

電子機器トータルソリューション展運営委員／川鍋季明（株式会社三共社）、同展企画委員／岡本崇義（岡本無線電機株式会社）

7 JEPホームページとメール等による会員相互の情報伝達を図る

8 各種講演会の開催

9 機関誌『電子部品流通』を年4回の発行を行う

10 各種保険の加入促進

拠出型企業年金保険への加

入促進、PL保険への加入促進

11 働き方改革の啓発と推進

12 少子高齢化への人材確保と人材育成

13 労務関連資料提供による情報の共有化

14 地区組織が行う各種研究会、講習会の実施協力

15 功労者表彰

16 友好団体事業に対する積極的協力

## 〈第5号議案〉

第5号議案の2025年度収支予算(案)決定の件では、鳥居会計理事が収支予算案を基に提案。

## ●地区情勢報告

この後、地区情勢報告が行われた。

東京都電機卸商業協同組合(TEP・松本年生JEP専務理事)

TEPは、組合員112社、賛助会員21社で構成されており、役員は屋宮理事長以下30名の理事と2名の監事で構成されている。今年度の活動の

## 〈第6号議案〉

第6号議案の2026年度会費及び会費徴収方法決定の件について、鳥居会計理事が提案。

## 〈第7号議案〉

第7号議案の役員変更の件では、監事の中西日出喜氏(ミカサ商事株式会社)が退任することを受け、新たに平松亨氏(ミカサ商事株式会社)を新任とすることを提案。また相談役の岡本弘氏が退任し、顧問に就任することが提案された。

第1号議案から第7号議案までの全議案が承認された。

内、各種研修会と講演会についてご説明する。

新入社員向け研修は、4月の入社時には3日間の研修を実施し、9月に6カ月後フォローアップ研修会、1年後にはフォローアップ研修会と、計3回の研修会を行っている。次に社員向けには、次世代管理職育成研修会として「で

きる営業必須生成AI活用術研修会」の実施を予定。時宜に合った若い社員にも取り組めるものを題材に選び、実施している。

講演会としては、9月に東京都電機企業年金基金と共催で年金・経済講演会を開催。

本年度は会場とWebを組み合わせたハイブリッド形式で開催し、JEPの各組織の方々にも参加を呼び掛けた。

年金講演会では一般社団法人定年後研究所の特任研究員、一般社団法人ディレクトフォースの教育支援・企業支援担当の得丸英司氏が講師を務め、「ファイナンシャル・ウェルビーイング経営の観点から見た企業年金制度」を講演いただいた。

経済講演会では、三井住友DSアセットマネジメントでチーフマーケットストラテジを務める市川雅浩氏が講師となり、「主要国経済と日米株式市場およびドル円相場の展望」について講演をいただき、盛会の内に終了した。

今後、来年の新年名利交換会においても講演会を開催

する予定となっている。レクリエーション活動では、恒例の親善野球大会を、今年も春と秋に開催。9月には親善ゴルフ大会を開催。11月にはボウリング大会を予定している。

最後に、展示会への参画については、6月10日から12日に開催された電子機器トータルソリューション展2025に、JEP会員とともに、TEP会員とECU Show事務局として参画。また、10月14日から17日まで開催される「CEATEC2025」においても、JEPのサポートとして協力していく。

近畿電子部品卸商組合(KEP・後藤勝JEP理事)

KEPでは、4つの委員会を中心とした工場見学や勉強会、親睦会などを積極的に開催している。今年度の主な活動は次の通り。

6月の総会にて、富士通の松本国一氏を招き、「AIで進む世界とこれからのビジネスに求められる考え方」をテーマとした講演をいただいた。この講演は90名の参加があ

り、好評だったことから、来年度も再度お願いしたいと考えている。

万博関連の企画として、団体で45名がバス1台を貸し切り、万博見学を実施。参加者からは好評だった。

6月には恒例の電子工作教室を開催。27組のご家族に参加いただき、サイクロンクリナーの製作を行った。

特筆すべき点として、今年度より賛助会員企業の工場見学・製品紹介を開始した。

7月には、パナソニックインダストリーの工場見学を実施し、リアルとリモートを合わせて合計47名が参加した。

9月には、摂津金属工業の勉強会を開催。リアルとリモートを合わせて68名の方に参加いただき、好評を博した。今後の活動予定は次の通り。

11月は恒例の親睦会を予定。これ以外にニチコンの亀岡工場を見学する予定。また忘年会を予定している。

2026年1月14日には賀詞交歓会を開催する予定。2月には、恒例の親睦ボウ

リング大会を開催する。

そして、今年度最後の賛助会員の工場見学として、3月には和田電器の工場を見学する予定にしている。

最後に、初めての企画となるが、2026年3月27日に大阪商工会議所が主催する、ならば駅前のスタートアップ企業支援の屋外展示を行う、通称「DDフェス」とされているイベントに対し、何らかの形で協力する方向で検討している。

**中部電子部品流通業協議会（CEP・坂明憲JEP副会長）**

CEPの総会は、4月23日に第47回定時総会をオープンイノベーション施設「ステーションA1」にて、総会、オンラインセミナー、懇親会の3部に分けて実施し、会員企

業および来賓の皆様にご参加いただき、好評を博した。

CEPとしては、会員企業の不良在庫という問題に対し、何かサービスを提供できないかと考え、生成AIを用い、各会員企業間での情報共有を図り、在庫の解消や円滑な流通を実現できないかという取り組みを検討。この取り組みを今年度の予算として総会で承認いただいた。

その承認に基づき、5月からCEPにおける生成AI委員会として小委員会を設置し、活動を開始した。9月までに計5回の小委員会を開催し、勉強や情報収集、ルール作りといったことを繰り返し議論し、10月からその運用を開始する予定。

在庫という部分だけに限定せず、各社のソリューション

ビジネスなど様々な情報を共有し、加えて生成AIをどう生産性改善に活かすかという点を焦点にして、運用を進めていくことにした。

12月にはその中間報告を行い、2026年4月の総会では、来年度以降の運用を含めた議論をしていきたい。

また懇親会において、CEPでの生成AIへの取り組みを経済産業省の方にも説明させていただいたところ、団体によるAI投資に対しても補助金をつけることが可能ではないかという示唆をいただいた。

総会後のCEPでのイベントとしては、7月10日にCEPポウリング大会を開催し、13社22チーム、計88名の会員企業の方々にご参加いただいた。

次年度以降はeスポーツにもチャレンジしたいという思いもあり、ポウリング大会会場でも参加者に話題を振って検討したが、ポウリングは会員企業の若い社員の方々から好評を得ているため、eスポーツではなく、来年度以降もポウリング大会の実施を計画している。

CEPとしては生成AIへの取り組みを重点的に進めている。なんとかこの取り組みを良い形でまとめ、その方法を皆様と共有できるよう、CEPでは取り組んで参りたい。

**関東甲信越電子制御部品流通協議会（NEP・柳田佳克JEP理事）**

関東甲信越地区の情勢については、地域企業からは様々な声が聞かれる。例えば、「ト

ランプ関税が決着し軌道に乗り始めれば、景気が上向くのではないか」といった期待や、「株式市場が好調で資産運用に關して合理的な見方が増えてきた」といった前向きな声も聞かれる一方で、「中国経済が低下しており需要減退が続いている」「国内における競争環境の激化により受注の回復が見込まれず、売上減少が起きている」といった厳しい声もある。また、「人手不足によって受注を断っている」という声もあり、好調な企業と不振な企業が二極化している状況が見られる。

大企業においては、生産性や能力増強、IT化、DX、さらには省エネルギーや環境問題への対応に向けた投資が増えてきたが、依然として慎重な姿勢を保っている。ただし、中小企業では設備投資に対して慎重であり、人手不足への対応として人員確保を優先するため、設備投資の方に資金を回す余裕がないという実態が聞かれている。

再生可能エネルギーでは、太陽光パネルへの注目があつ



後藤理事



柳田理事



中野理事



伴野理事



たり、また、建屋全体に遮熱材を貼るなどの熱対策を施す案件が、弊社の事業においても何度も出てきた。

今後も、従来の電子部品といった観点だけでなく、様々な角度から商売につながるようなものを提案できたらと考えている。

次に、NEPの活動報告となる。NEPの総会については、諸事情もあり、まだ開催できていない状況にある。今現在、急ピッチで準備を進めており、早急に総会を開催するので、よろしく願いたい。

**中・四国電子制御部品流通協議会（CSEP・中野和久JEP理事）**

CSEPの活動だが、3月はナム社という会社の社長から、プレゼンテーションがあ



稲葉室長補佐

った。これは広島大学と共同開発した専用の転倒防止トレーニング機器「ステップバランストレーナー」という事業にも取り組まれている。

4月は第42回定時総会を開催した。講師に風水鑑定士の橘玲華氏をお招きし、「運氣をどう上げるか」というテーマでお話を伺った。

5月はオムロン代理店の代表営業から、制御機器の納期問題について説明を受け、現状、納期状況はだいぶ改善しているとの報告があった。

6月は電波新聞社から、エレクトロニクス業界から見た大阪・関西万博というテーマでプレゼンテーションをしていただいた。

7月は広島経済レポートから、同社が発行する企業レポートの事業だけでなく、地元



伊東事務所長

の企業と広島の高校生・学生をつなぐ採用支援に関する活動内容の紹介があった。

また特別企画として、広島県警本部の方にお越しいただき、「技術流出の防止に向けて」という説明を聞いた。

日本の優れた技術が流出したり、盗まれたりするサイバー攻撃があるということで、電子業界の皆様にはぜひ話を聞いていただきたいという警察側からの要望があり、当会の会員に対してサイバー攻撃の話をしていただいた。

技術流出は、サイバー攻撃、スパイ工作、そして経済・学術活動を通じた流出があると説明され、経済安全保障上の重要性から、自身の身にも起こり得るという意識で対策を講じなければならないという内容だった。



高原事務局長

またスパイ工作や経済・学術活動を通じた流出はより巧妙になる。スパイ活動は、標的となった人物の趣味や仕事内容を十分に調べた上で、巧みに近づいてくるそう。

9月は、CSEP会として重要な事業を実施した。CSEPでは、工場見学や勉強会を実施しても、都合がつかずなかなか参加されない傾向にある。そこで、広島有数の高級料亭で美味しいものを食べて懇親会をしようという企画を行っている。

今回、広島の庭園付きの料亭で、事業として屋宮会長を広島に招き、会員との情報交換・懇親会を開催した。

今回の懇親会では、JEPとのネットワークの強化、JEP本部が進めている在庫品の販売プラットフォーム構築計画、そして本部との連携強化について話し合い、推進していくという認識を共有した。

CSEPとしては魅力ある会にし、「全国とつながっている」という点を強調できるようにしたいと考えている。

**九州電子流通業協議会（KR P、伴野豪JEP理事）**

KRPは、現在、正会員9社、賛助会員6社の計15社で活動している。

今年度は、福岡エレコン交流会と福岡市機械金属工業会と合同でeスポーツ大会を開催した。今回はグランツリーSMOの第2回大会であったが、KRPからの参加は少なかった状況。

私自身は参加したが最下位に終わってしまったことから、次は優勝を目指したいと周囲に話している。

現時点では、KRPの活動が少ない状況にあるので、今後はより活発な取り組みを企画・実施していきたいと考えている。

九州は電子部品の供給拠点としても全国的に重要な役割を担っている。課題は多いものの、JEPとの連携を強化することにより、全国的な情報共有を図り、業界全体の底上げを目指すことで、持続可能な成長を実現したいと考えている。

私自身も九州代表としてこ

これらの取り組みを牽引し、JEPの場を積極的に活用して活動したいと考えている。

## 来賓挨拶も実施

地区情勢報告終了後、来賓の経済産業省商務情報政策局情報産業課デバイス・半導体戦略室室長補佐の稲葉晶宏氏、香港貿易發展局東京事務所事務所長の伊東正裕氏、電子回路工業会事務局局長の高原邦夫氏から祝辞が述べられ

た。稲葉室長補佐は「急速なDXの進展に伴い、電子部品はIoT機器に加え、再生可能エネルギー、電動車、次世代通信機器などの基幹部品として用いられ、その重要性はこれまで以上に高まっている。その重要性は経済活動や国民生活に及ぼす影響が非常に大規模であることから、経済安全保障の観点も踏まえ、重要な技術を守りつつ、将来に向

けた発展を実現していくことが必要不可欠。

このため、昨年2月には、経済安全保障推進法に基づき、安定供給を目指すべき特定重要物資に、積層セラミックスコンデンサーなどの先端電子部品を追加させていただいた。加えて、国内におけるサプライチェーン強化に資する取り組みへの支援として、令和5年度、令和7年度の補正予算において、先端電子部

品及びその素材に関する合計3件の安定供給確保計画を認定させていただいた。

こうした積極的な設備投資を支援させていただくことを通じ、日本の電子部品産業の強みを将来に向けて伸ばしていただき、同時に重要な技術を守っていただくという取り組みも重要と考える。

日本の電子産業が有する優れた技術は、競合する他国企業や他国政府にとって、是が非でも獲得したい技術であると考えており、様々なアプローチが行われている。

したがって、市場へのアクセスや競争力の維持・拡大という攻めの観点と、日本が世界に誇る技術や人材を守るという守りの観点のバランスを、これまで以上に意識する必要があると考えている。

こうした環境において、個々の企業の皆様はもちろん、業界全体でどのように考え、行動していただくのか、といった観点での議論を、ぜひとも深めていただきたい。

経済産業省では、昨年末から技術管理強化のための官民

対話スキームの運用を開始。実際、報告の対象として当初10の技術を指定させていた

き、本年6月には磁気センサーなど5つの技術を新たに追加した。

こうした枠組みを通じ、攻めと守りのバランスについて、民と官の間でしっかりと目線を合わせ、コミュニケーションを密に取りながら、電子部品産業の成長に向けて共に努力していきたい」と語った。

また伊東事務所長は、次のように祝辞を述べた。

「香港貿易發展局では、香港と海外第三国との貿易振興に貢献すべく、活動をしており、毎年春と秋にエレクトロニクス関係の展示会を開催している。

ご覧いただければお分かりのように、規模が大きいのが特徴。世界中の売り手と買い手が集まる展示会となる。

香港貿易發展局では、出品される方からは出展料をいただかなければならないが、来場されるバイヤーの方に対しては、例えばホテルスポンサ



閉会の挨拶を行う坂副会長



懇親会は江見副会長の乾杯でスタート。人手不足をチャンスにしようと語った





懇親会では、いたるところで名刺や情報の交換を行う姿が見られた



懇親会の最後には中野理事が立ち、情報共有の重要性を訴えた

ーシップなど、様々な特典を提供させていただいている。

来年の春以降も年に2回開催している、ぜひそういった特典も利用して香港にお越しただければと思う。

また、昨年11月以降、中国へ入国する際にビザを取得する必要がなくなっており、香港にこられた方がついでに深圳や広州などに足を伸ばさるケースが非常に増えている。ぜひ足を伸ばしていただ

ければ幸い。

最後に高原事務局長は、総会が無事に成立したことを祝った後、次のように祝辞を述べた。

「歴史を振り返ると、約80年のサイクルで景気の悪い時と良い時が入れ替わるというパターンが見て取れる。この周期が間違いないければ、2025年から2060年に掛けては、経済が伸びる周期に入っていくことになる。

現在、日本は少子高齢化、

人口減少、そして食料自給率の低下といった社会問題に対し、非常に苦しい状況にある。こうした社会問題は、日本だけでなく、20年後には中国へ、60年後にはアメリカへと、世界に波及していく。

今、日本が直面している社会問題は、数十年後の世界の社会問題となる。こうした社会問題に対する情報の収集や、ネットワーク

作りの機会として、皆様と一

緒に来年も開催するECU Showを、6月10日から開催するので、多くの方にご参加いただき、上手くご活用いただければと考えている」。

最後に坂副会長が壇上に立ち、会員企業と来賓への感謝を語った後、「生成AIも、ほとんどが海外製のデジタル資源から生まれているもの。その中でも、日本のスタートアップ企業がAIに取り組み、新しい、異なった考え方のAIに取り組んでいようだ。

我々も世界に羽ばたくようなソリューションを生み出すことに邁進すべき。必ずや電子部品を必要とするインフラが必要になる。その時まで、我々もしっかりと耐えて頑張っていきたい」と総会を締めくくった。

### 懇親会を盛大に開催

この後、懇親会が開催された。

懇親会では江見副会長が「関西の景気は、万博が盛り上がりつつあるものの、電子部品業界にどれだけ関与するか

というと、今のところは限定的だろう。ただし、人手不足という問題はチャンスになる可能性がある。これは、ハイテクだけでなくローテクも含め、省力化が求められることにつながると思うからだ。

ぜひ、本日皆様からいただいた情報も含め、うまく活用していただき、今後の事業につなげていただければと願っている」と挨拶を行い、笑い声に包まれながらの乾杯が行われた。

懇親会では、いたるところで名刺や情報を交換し、歓談する姿が見られた。

また、閉会の挨拶はCSE P会長の中野理事が立ち、「我々は広島企業の皆様、全国のJEP会員の皆様との拠点のつながりをより深くし、この厳しい状況を乗り切るには、やはり情報が最も大事になってくると考える。

従って、交流を深め、多くの情報を共有することで、電子業界の発展と、私たち自身の企業の生き残りをかけていきたいと思う」と語り、一本締めで懇親会を閉会した。

# 世界に広がる ネットワーク

## ◆海外販売拠点

中国：香港、深圳、成都、広州、重慶、武漢  
上海、大連、合肥、杭州

タイ：パドムタニ、シラチャ、ランブーン、ピサヌローク  
マレーシア：クアラランポー、ジョホールバル、ペナン  
ベトナム：ホーチミン、ハノイ  
シンガポール、フィリピン

## ◆海外生産工場

中国、タイ、ミャンマー

## ○主な取扱メーカー

ヒロセ電機	ローム	シャープ	ニチコン
ソーセミ	タカタ	岡谷電機産業	タムラ製作所
東京コスモス電機	双信電機	放熱器のオーエス	SEMITEC
竹内工業	FDK	坂東電線	大真空
タカチ電機工業	沖電線	サガミエレクト	シーアイエス

# 飯田通商株式会社

IIDA ELECTRONICS (TSUSHO) Co., Ltd.

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-9-3  
TEL 03-3251-0002 FAX 03-3251-6213  
<https://www.iida-tusho.co.jp/>



NNP GROUP

Living & Working Together

# NNP株式会社

<https://www.nnp.co.jp/>

営業品目：電子部品、電子ユニット、電池、モータ、FA等の販売  
OEM・ODM・設計開発の請負

本社：名古屋市中村区名駅3丁目19番14号 第2名古屋三交ビル14F  
〒450-0002 TEL:052-561-2571(代) FAX:052-561-2595

営業拠点：東京・静岡・大阪・広島・中国・香港・タイ

関連会社：NNP電子株式会社

取扱メーカー：パナソニックグループ各社・(株)村田製作所・京セラ(株)  
ニチコン(株)・ミネベアミツミ(株)・新旭電子工業(株) 他

# HAMADA

制御部品、パソコン周辺機器、監視・防犯システムの総合商社



FA制御部品

独創的なアイデアで  
お客様のニーズに応える



PC周辺関連機器

# 浜田電機株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-4 TEL:03-5651-7351(代表)

秋葉Direct TEL:03-6825-3180 <https://www.akibadirect.com/>

<https://www.hamada-dk.com/>

# "No where, Now here"

～どこにも無いもの 今ここに～

千代田電子機器は、半導体・電子デバイスの専門商社として  
長年の経験と技術を培い、お客様のニーズに応じた  
ソリューションを提供しております。  
電子デバイス販売・購買代行・設計・EMS事業の  
サポート体制を柱にお客様と社会へ貢献いたします。



CES	海外営業・購買窓口 シンガポール	CEH	海外営業・購買窓口 香港	CSH	海外営業・購買窓口 上海
CDC	通信機器 設計・製造 株式会社コーデック	MES	国内ASSY工場 株式会社エムイーエス	PST	GPS関連商品開発 ポジション株式会社



# 千代田電子機器株式会社

CHIYODA ELECTRONIC CO., LTD.

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-9 TEL:03-3253-9561  
U R L: <http://www.cec-chiyoda.co.jp>

## 主要取扱メーカー

パナソニック / メグロニクス / ロジージャパン  
NKKスイッチズ / 釜屋電機 / ポジション / コーセル  
小峰無線電機 / その他 海外・国内メーカー多数



# 電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

## 本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター  
『電子部品流通』  
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1  
全国家電会館  
電話03 (3832) 4298  
FAX03 (3832) 5061  
Eメール mail@krkc.co.jp

お客様のニーズに合った  
最適なソリューションを  
ご提案いたします



**角田無線電機株式会社**  
KAKUTA RADIO & ELECTRIC CO.,LTD.

<https://kakuta.co.jp>

電子営業部

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-38-16 (菱興町屋ビル3階)

TEL 03-6859-2600  
FAX 03-6859-4940 (お見積)  
FAX 03-6859-4941 (ご注文)

信頼されるパートナーになりたい。

〈営業品目〉

- ◇コネクタ
- ◇クーリングファン
- ◇モーター/トランス
- ◇ケーブル・アッセンブリ
- ◇各種eco商品
- ◇光通信機器
- ◇太陽光発電システム



[www.tominagadk.co.jp](http://www.tominagadk.co.jp)

〔特約店〕

- (株)七星科学研究所
- 山洋電気(株)



**富永電気株式会社**

本社/〒101-0021 東京都千代田区外神田2-11-8 富永ビル  
TEL.(03)3255-0821(代) FAX.(03)3255-0856



**エレクトロニクスの  
総合商社です**

[www.daiwa-musen.com](http://www.daiwa-musen.com)

即納品5000品目からお選びください

**大和無線電機株式会社**

ISO14001 JQA-EM3267

本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-13-8

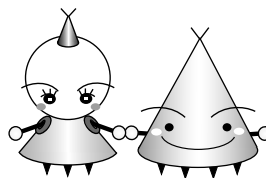
TEL 03-5846-8361 FAX 03-3834-3211

特約代理店

オムロン・サンケン電気・SMK・ミネベアミツミ  
東京コスモス電機・ニデックコンポーネンツ・日精電機  
ホーザン・センサータ・キムラ電機・K O A

**東亜無線電機株式会社**

電気部品・電気機器・通信機器・情報機器の販売商社



人と情報のネットワークを広げる東亜無線のヒューマンテクノロジー

<https://www.toamusen.com/>



本 社 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-11-7

TEL 06-6644-0117

販 売 拠 点 国内/大阪、京都、滋賀、名古屋、関東

海外関係会社 東亜無線(香港)有限公司

上海埃萊夏科貿易有限公司

TOA MUSEN VIETNAM CO.,LTD.

～展示会情報～

●電子機器トータルソリューション展2026

2026年6月10日(水)～12日(金)

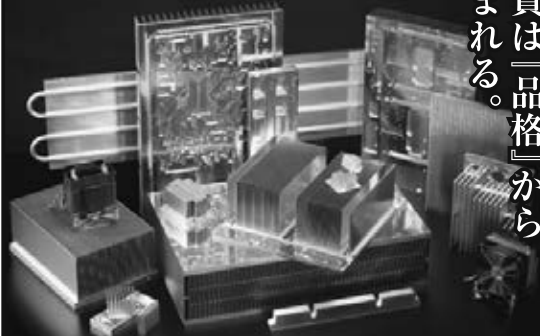
東京ビッグサイト東展示棟

●CEATEC2026

2026年10月13日(火)～16日(金)

幕張メッセ

**LEXMARUSAN**  
<https://www.lex.co.jp>



品質は「品格」から  
生まれる。

株式会社 丸三電機

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-2 Tel.03-3253-0411 Fax.03-3253-1935

## CEATEC2025

## JEPも出展、名簿等の配布を実施

CEATEC2025が10月14日～17日にかけて、幕張メッセ(千葉県)で開催された。

全国電子部品流通連合会(JEP)もブース出展し、『JEP会員名簿』等の配布を行った。

今展の来場者数は9万8884名。昨年の来場者数が11万2014名であったことから、1割ほど減った形となる。CEATEC2025では

昨年を上回る810社/団体が出展。

開催趣旨は、「経済発展と社会課題の解決を両立する『Society5.0』の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、『共創』によって未来を描く」とあり、デジタルイノベーションの総合展として、『共創によって未来を描く』ことがテーマとなっている。

そのためCEATECでは、①イノベーションが動き出す場を提供、②未来社会のビジョンを提示、③多様な業界や業種、国や地域を越えた連携を促進、④ビジネスチャンスの創出、⑤未来社会を担うイノベーターたちをサポートといった方向性を打ち出している。

## AIや暮らしのDX化を提案

展示での注目ポイントとしては、主催者特別企画として、『暮らしのDX』などの特設パビリオンを設置。

「暮らしのDX」は、IoT/AI/ネットワーク技術の進化により、子育て世代、高齢者、単身者など様々なライフスタイルに合ったサービスやスマートホームにより、消費者の暮らしは大きく変化していることから、便利で快適、安全な暮らしの将来像を展示。

供する企業などが出展された。なお電子情報技術産業協会(JEITA)半導体部会は、『JEITA 半導体フォーラム2025』を開催した。ここでは、半導体に関わる仕事を楽しく学べる、等身大サイズの「半導体産業人生ゲーム」等を用意し、次世代向けに半導体産業で働く魅力を発信。また半導体企業9社が、半導体が貢献する社会課題の解決につながるテクノロジー等も紹介した。

## JEPも名簿とバッグで訴求

JEPも協力団体としてブース出展。花岡無線電機と浜田電機の協力の下、搬入やブース設営、『JEP会員名簿2026』や特製エコバッグの配布を実施。これ以外には来場者に向け、JEPとはどのような団体なのか等の説明も行われた。



CEATEC会場



出展したJEPブース



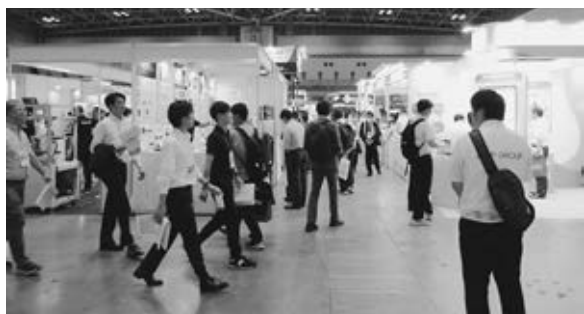
半導体産業もアピールされた

## 電子機器トータルソリューション展2026

## ECU Showの出展募集を開始！

一般社団法人日本電子回路工業会が事務局を務める「電子機器トータルソリューション展2026」(JPCA Show)が2026年6月10日～12日の日程で、東京ビッグサイト東展示棟で開催される。

同展は、全国電子部品流通



昨年のECU Show会場

連合会(JEP)と東京都電子機器商業協同組合(TEP)からの参加企業によって実施される「Electronics Component & Unit Show(ECU Show)」に加え、第55回国際電子回路産業展、第40回最先端実装技術・パッケージング展、第27回実装プロセステクノロジ展、AIデバイス展、電気・光伝送技



JEPも名簿等を配布した

術展、イーテキストイル／ウェアラブル展で構成。26年展からは、新たに半導体産業展とOSAT Solution Showが加わる。

なお、開催初日には主催団体の長が集まり、テープカットやレセプション等が行われる予定となっている。

### 出展者を募集中

そうした中、JEPとTEP、日本電子回路工業会では、「ECU Show」に出展する企業を2026年2月27日まで募集する。

ブース仕様は、1小間6㎡(幅3m×奥行2m×高さ2・7m)のスタンダードブースが税込み30万2500円。

1小間2㎡(幅2m×奥行1m×高さ2・7m)のミニマムブースが税込み18万1500円(※15頁参照)。

スケジュールは2月の出展

申込締切以降、3月に出展者説明会、4月に招待状発送と各種書類提出、6月8日～9日に搬入となる。

JPCA Showは、昨年442社／団体が出展し、来場者数は4万9760名となった大規模な展示会。出展した会員企業からは、「新たな開拓先につながった」、「優秀な人材の紹介につながった」、「社員がECU Showでの展示に合わせ、新しい検討を行っている」、「社員たちが展示の見せ方などを検討し、注目を集め、集客するようになり、成長につながっている」等の意見も出ている。

ぜひ出展、さらには来場していただきたい。

### 25年展は13社が参加

なお2025年に開催されたECU Showには、JEPからは岡本無線電機、東

亜無線電機、NNP、ツルタ制御機器、成電社の5社が参加。

TEPからは三共社、ジュパ、メトロ電気、アール電子、飯田通商、グローバルディスプレイ、コアスタッフ、e Parts Electronicsの8社が参加。

ブースによっては独自のアメニティ配布に加え、取扱メーカーの製品を実演も交え、大々的にアピールする姿が見られた。

またJEP事務局も参加し、会場ではJEP会員名簿と特製エコバッグの配布も実施。26年展でもこれらを行う予定となっている。

### 業界の最新動向も発信

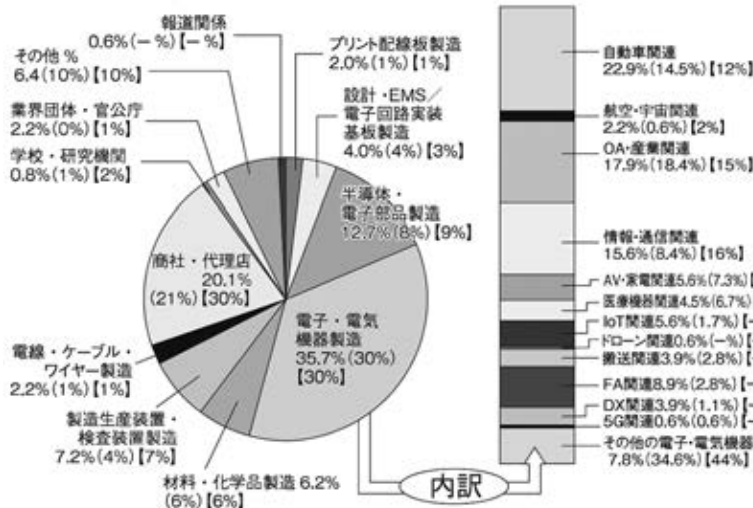
なおJPCA Showでは、様々な講演やシンポジウムも実施される。

25年展では経済産業省が「日本の半導体戦略の現状と

Electronics  
Component & Unit Show

( ) 2024年展示会数値

[ ] 2023年展示会数値



今後」を講演。これ以外に「AIと半導体が世界経済を引っ張る主役の時代がやってきた」、「JEITA 2024年度版実装技術ロードマップ注目される市場と電子機器群」、「スマートフォンの周辺機器、AIサーバーの業界見通し」等の興味深い講演も実施。

## 昨年の来場者の傾向

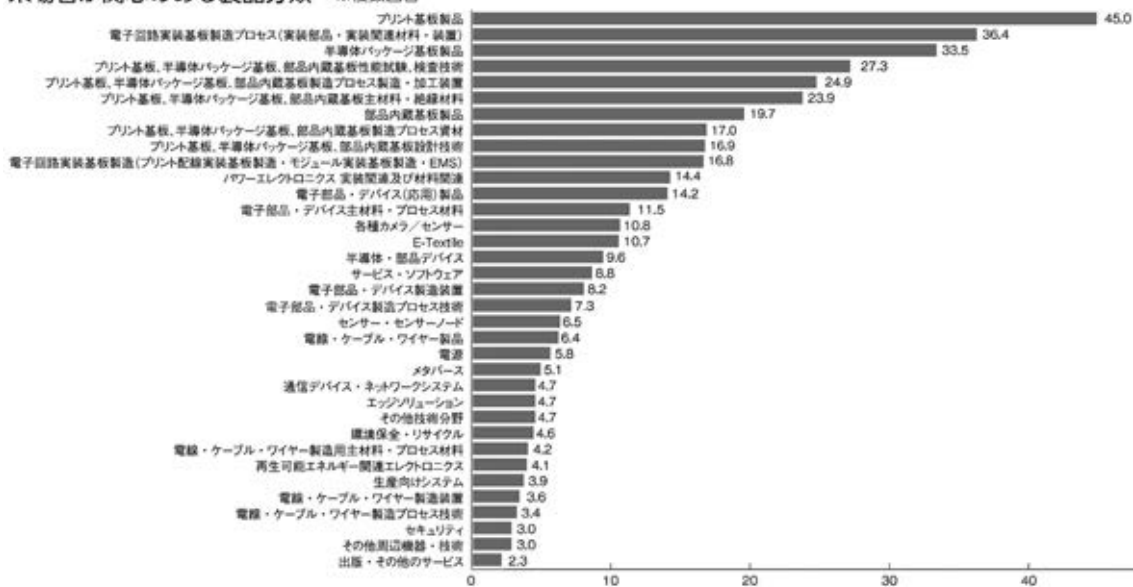
シンポジウムでは「生成AIの最新動向、現状と課題」、「CHIPLETの最新動向、現状と課題」、「5G/6G向け高周波対応材料開発動向」等の様々なテーマのものが行われた。

また来場した「電子・電気機器製造」の内訳を見ると、大きなところでは「自動車関連」が22.9%、「OA・産業関連」が17.9%。これ以外に「その他電子・電気機器製造」が7.8%となった。そのため26年展では「自動車関連」や「OA・産業関連」等の客層をどのように取り込んでいくかなどがテーマの1つとなっている。

またJPCA Show来場者が関心のある分析(※14頁下表参照)を見ると、最多の関心となったのはプリント基板製品、次点が電子回路実装基板製造プロセス(実装部品・実装関係材料・装置)となった。

これら以外に電子部品、各種カメラ/センサー、電源等も関心のある商品として挙げられている。

## 来場者が関心のある製品分類 ※複数回答









## 岡本無線電機株式会社

OKAMOTO ELECTRONICS CORPORATION

最新エレクトロニクスのフレキシブルな交差点 電子部品の総合商社



本社 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目8-4 TEL:06(6643)4671(代) <https://www.okamotonet.co.jp>  
 大阪営業本部 06(6327)1133 東京営業本部 03(3412)8211  
 名古屋営業本部 052(249)3820 販売促進本部 06(6327)1461  
 関連会社 おおとり株式会社(国際本部) 06(7167)8820 香港・深圳・上海・シンガポール・タイ・ベトナム・台湾・マレーシア

**サトパツ**  
SATO PARTS

# やさしく光る

防水ワッシャー使用時  
IP65 (防水・防塵)  
オプション ND-1000-W1





**90V-220V AC/DC**  
**5V-60V AC/DC**

- 電圧・極性フリー
- カンタン取付
- IP65 (防水・防塵)

・防水ワッシャー使用時  
・一部対応していない商品があります

Short movie



## 次世代表示灯 NDシリーズ162type 新発売！

### お客様のニーズに応える エレクトロニクス専門商社

主要取扱商品

◆電子部品・機器 ◆基板・実装  
◆光部品・機器 ◆環境・省エネ機器



## 日昭無線株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-13-1

電子営業部 03-3255-6691

<https://www.nmk.co.jp>

### FUTURE CONNECTION

テクノロジーによる人と未来のかけ橋

● 取扱いメーカー

日本航空電子工業(株)  
本多通信用工業(株)  
多治見無線電機(株)  
アイティエーカン(株)  
デッキコンポネツ(株)  
ミニネット(株)  
坂東電線(株)

ホシミツインダストリー(株)  
北電子(株)  
パナソニック(株)  
同和電子(株)  
大和ハヤシ(株)  
大和ハヤシ(株)  
大和ハヤシ(株)  
大和ハヤシ(株)

デンタルコ(株)  
インダストリー(株)  
ムラマツ製作所(株)  
子機製造(株)  
ヤマハ電機(株)  
各種ハーネス



## 株式会社 三誠

〒113-0034 東京都文京区湯島2-24-13 三誠ビル  
TEL:03(3834)3161(代) FAX:03(3834)3175

● 青森営業所 ● 仙台営業所 ● 宇都宮営業所 ● 東関東営業所  
● 前谷営業所 ● 宮城営業所 ● 西東京営業所 ● 信越営業所  
● 松本営業所 ● 静岡営業所 ● 名古屋営業所  
● 大阪営業所 ● 福山営業所 ● 九州営業所  
● 物流センター ● 多摩工場

[国内関連会社] 三協電子株式会社 株式会社プリサイス通信  
[海外関連会社] 三誠有限公司(香港)・上海華清貿易有限公司  
SANSEI VIETNAM TRADING CO.,LTD.  
SANSEI TRADING (THAILAND) CO.,LTD.

## 本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター  
『電子部品流通』  
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1  
全国家電会館  
電話03(3832)4298  
FAX03(3832)5061  
Eメール [mail@krkc.co.jp](mailto:mail@krkc.co.jp)